

「水災害を防ぎ、水災害に備える」

長崎県では、平年より早い5月29日梅雨入りしました。既に全国では東海地方を中心に豪雨による甚大な被害に見舞われています。地球温暖化等の影響により水害リスクが高まっているなかで、県では各種防災気象情報の発信の充実を図っています。

防災情報の発信

■ 6/27 に PC 版母表示画面が大幅リニューアルされました

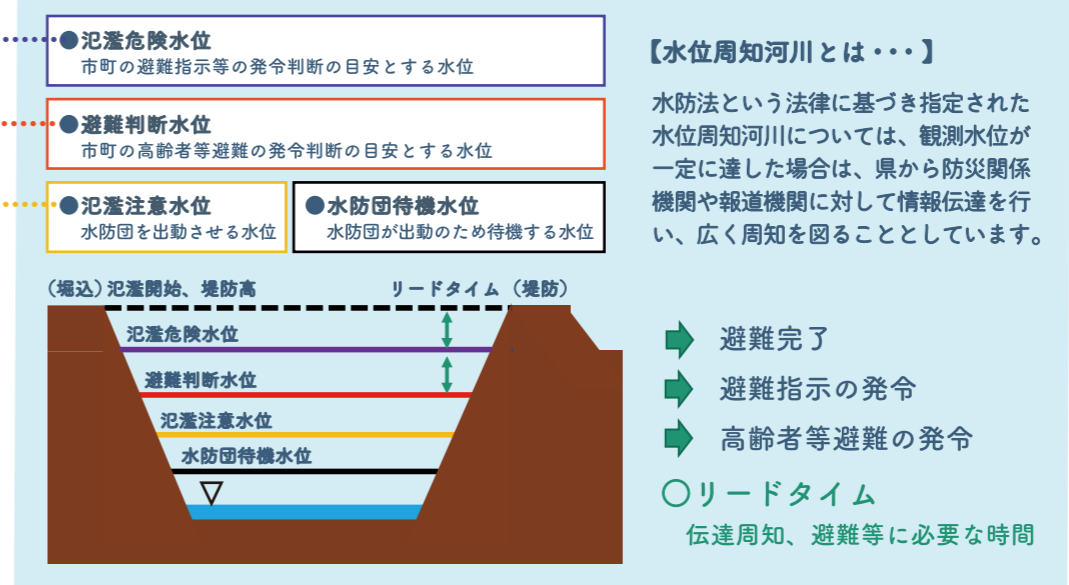
長崎県河川課砂防課では、「長崎県河川砂防情報システム（通称：ナックス）」により、河川水位や雨量情報といった防災情報をリアルタイムで提供しています。



河川水位情報

県が管理する河川312カ所に水位計を設置し、観測を行っています。水位計は、河川の重要度などに応じて3種類あります。

■ 水位周知河川の設置水位計（29箇所）



■ その他河川の水位計 65箇所

その他河川についても、平常時から河川の観測水位の計測発信を行っています。

■ 危機管理型水位計 218箇所

近年、急速に設置箇所を追加してきた洪水時の水位計測に特化した水位計です。この水位計の設置により、長崎県が管理する全ての水系で水位観測を行えるようになっています。

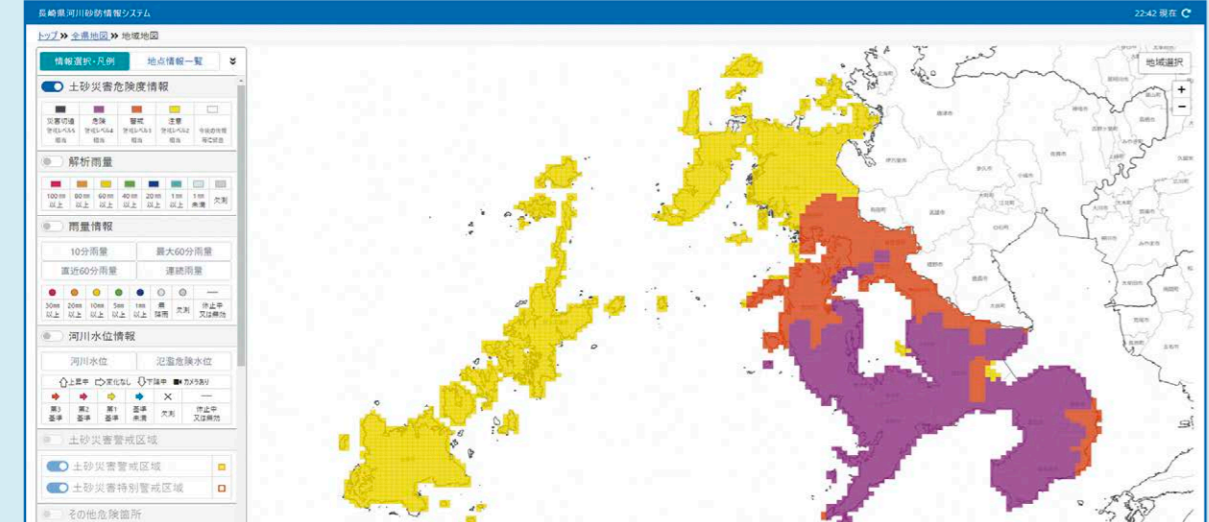
河川監視カメラ

現在、県が管理する河川のうち29カ所に設置しており、監視カメラの画像により、常に最新の川の状況が確認できます。



土砂災害危険度情報

県内の地域毎の、雨による土砂災害の高まりを視覚的に確認することができます。



自治体や気象庁等から発表される防災気象情報は、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されています。  
お住まいの地域で、市町から警戒レベル4避難指示や警戒レベル3高齢者等避難が発令された場合は、すみやかに避難行動をとってください。  
一方、気象庁等からの防災気象情報は、多くの場合自治体の発令よりも先に発表されます。その場合も、警戒レベル4相当や警戒レベル3相当の防災気象情報が発表された際には、自ら避難の判断を行っていただくようお願いします。ナックスから提供される、河川の水位情報（水位周知河川）や土砂災害危険度情報も、この警戒レベルに対応しています。

| 警戒レベル                    | 新たな避難情報等     |                  |
|--------------------------|--------------|------------------|
| 5                        | 災害発生又は切迫     | 緊急安全確保※1         |
| ~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~ |              |                  |
| 4                        | 災害のおそれ高い     | 避難指示※2           |
| 3                        | 災害のおそれあり     | 高齢者等避難※3         |
| 2                        | 気象状況悪化       | 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁） |
| 1                        | 今後気象状況悪化のおそれ | 早期注意情報（気象庁）      |

各警戒レベルに対応

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。  
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル4 避難指示      警戒レベル3 高齢者等避難      相当の情報発表時には、避難行動をとっていただくようお願いします。

現在、様々な機関から、いろいろな手法で防災気象情報は提供されています。積極的な情報収集、早めの避難を心がけてください。

砂防課では、土砂災害警戒情報が発表・解除された際に通知する登録制のメールサービスを実施しています。左のQRコードから空メールを送信のうえ、ぜひご登録ください。